

1. 基本情報												
事務事業コード	03010102	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業				担当部	農林水産部				
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課				
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ				
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111				
							内線番号	2362				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S44 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)					
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、霧島市補助金				
	項	02 林業費										
	目	02 林業振興費										
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画						
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているため、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。霧島市が捕獲従事者として依頼している捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い、被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う)

霧島市が有害鳥獣捕獲報償費の対象としている鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、タヌキ、アナグマ、ノウサギ、カラス及びニホンザルである。県が協議会を作り、基金を積み立てて行いそこから、捕獲者への必要経費の上乗せや、防護柵の強化等の補助を行っている。国の上乗単価については、市の報償費にイノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの成獣は8,000円幼獣は1,000円、アナグマ・タヌキは1,000円、カラス・ヒヨドリは200円である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 有害鳥獣の捕獲指示	件	104	118	128	110	110
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 農林水産物	被害件数	件	230	235	250	230	230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 有害鳥獣による被害を防止する	捕獲見込み頭(羽)数	頭(羽)	1,934	2,091	2,862	2,000	2,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 農林水産物被害防止に繋がる。	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	203	250	250
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鳥獣による農林水産物への被害を軽減するため昭和44年から実施が始まった。鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律が平成20年に施行された。鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業も実施され、鳥獣被害に対する防除・捕獲対策が強化され、農・林業者からの電気柵整備等の申請も増加傾向にある。	4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0
			県支出金	千円		0	0	0	0
			地方債	千円		0	0	0	0
			その他	千円		0	7,476	15,380	15,380
			一般財源	千円		12,777	17,610	12,924	12,924
			事業費	千円	0	12,777	25,086	28,304	28,304

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか2,862頭(羽)、24,612千円) 捕獲隊への運営費補助(5団体、491千円)	捕獲隊員の減少を防止するため、新規加入の促進、わな猟免許取得促進により、わな猟免許取得者が増えた。特にシカの被害が増加しているが、畏によるシカの捕獲実績が増えている。シカの実績としては、1,064頭の実績が上がっている。
---	--

事務事業コード	03010102	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	農林水産物への有害鳥獣による被害の防除及び捕獲活動で農林水産物被害を食い止めている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	有害鳥獣の捕獲については、狩猟免許等が必要であり、市が免許所持者に依頼し捕獲活動を行っていただいている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	生息数の管理を行う事で、農林水産物への被害軽減につながる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業を廃止・休止した場合、農林水産業被害は莫大なものになりかなりの影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他の事情等はない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	捕獲実施にあたっては、銃器、罟ともに銃砲用火薬類や道具代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	支所単位での事務(被害調査、捕獲指示等)の統一化を図り、効率的な事務事業を行う。 捕獲指示者は鹿児島県有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領により市長となっているため、協議会等では出来ない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	捕獲者と信頼のもと、本事業を行っており証拠物の確認も国や県の指導のもと行っている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							>
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	捕獲頭数について、計画的に指示頭数を行い管理を徹底していく。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	国や県の事業等を活用し、国・県・市一体となり有害鳥獣の防除及び捕獲に取り組む。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	03010103	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	森林整備グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	養島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱、財団法人鹿児島県林業担い手育成基金業務細則			
	項	02 林業費									
	目	02 林業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(社会保険制度等加入事業補助金)
 林業従事者の福利厚生充実、技術・技能の向上及び労働安全衛生の充実を図る。
 始良東部森林組合(12人) 609,200円 北始良森林組合(32人) 2,551,200円 始良西部森林組合(10人) 878,100円

(林業退職金加入促進事業補助金)
 林業従事者の林業退職金共済制度の掛け金の一部を助成し、当該制度等への加入を促進することにより、林業従事者の就労条件を改善し、就労の長期安定化に資することを目的とする。
 始良東部森林組合(7人) 276,700円 北始良森林組合(36人) 920,000円 始良西部森林組合(10人) 338,700円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助金額	千円	5,707	5,574	5,696	6,528	6,528
イ 交付対象者	人	119	101	111	111	111
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 林業従事者	林業従事者数	人	119	101	111	111	111
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 就労条件が改善される	社会保険等加入対象従事者	人	58	48	46	55	55
イ 就労条件が改善される	退職金制度加入対象従事者	人	61	53	52	65	65
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	476	476	476
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 平成3年度から林業従事者の就労条件の改善による労働力の確保を目的として開始。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		5,574	5,696	6,398	6,398
		事業費	千円	0	5,574	5,696	6,398	6,398

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

社会保険制度加入事業	46人	4,224,600円	就労の安定化が図られた。
林業退職金共済制度加入促進事業	52人	1,471,800円	

事務事業コード	03010103	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林業従事者の就労条件の改善がなされれば、林業経営体の体質が強化されるため結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林業経営が厳しい中、労働力の確保には就労条件(身分保障)の改善が必要であり、新規就労の促進、施業面積の増加を図る必要があるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	継続的に支援を行うことで、林業従事者の就労条件が改善され、社会保険等加入対象従事者数の増加が図れる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	事業体の負担が増すため、社会保障等の費用が増加し、経営を圧迫する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	国(担い手基金)の事業で負担割合1/3が決定している。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金交付事務であるため、削減する部分がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上位組織補助制度であるため、受益機会は公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	林業従事者の就労条件の改善を図るため支援を行うとともに、新規就労にかかる取組みへの支援を積極的に行い、林業事業体の施業能力の確保、向上を図る。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	林業従事者の就労条件の改善を図るため、林業退職金制度や社会保険制度等の加入促進のため支援を行う。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報									
事務事業コード	03010202	事務事業名	林道整備事業			担当部	農林水産部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	林務水産課		
施策名	01	農・林・水産業の振興				グループ	森林整備グループ		
基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111		
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 不明） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）			
	款	06 農林水産業費							
	項	02 林業費							
	目	03 林道事業費							
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				根拠法令・条例等	なし			
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強		評価区分	簡易評価	
					関連計画		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行う必要がある。
 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進行に大きな役割を果たす。

① 活動指標（事務事業の活動量）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（見込）	27年度（見込）
ア 林道整備	m	990	945	988	834	750
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）	③ 対象指標（左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（見込）	27年度（見込）
ア 林道開設路線舗道未改良（舗装改良）路線							
イ							
ウ							

④ 意図（②対象をどうしたいのか）	⑤ 成果指標（左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	27年度（目標）
ア 整備を推進する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図（さらにどのような成果に結びつのか）	⑦ 基本事業の成果指標（左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	27年度（目標）
ア 効率的な生産を行う基盤が整う。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

（法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）
 地元自治会や森林所有者より、山村地域の振興や定住環境の改善のために早期完成が望まれている。

4. 事業費の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（計画）	27年度（計画）
		国庫支出金	千円		0	0	0	23,500
		県支出金	千円		0	0	0	6,000
		地方債	千円		43,800	62,500	52,700	40,000
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		2,676	4,732	7,200	24,100
	事業費	千円	0	46,476	67,232	59,900	93,600	

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
国分山麓線 用地・立木補償1式 伊勢坂線 道路改良 L=300m W=3.0 21,399千円 用地・補償1式 荒平線 道路改良 L=262m W=4.0 22,682千円 用地・補償1式 大屋敷線 道路改良 L=203m W=4.0 5,000千円 大谷第2支線 道路改良 L=223m W=4.0 15,000千円	林道整備の完成・一部完成により、森林整備の促進が図られた。

事務事業コード	03010202	事務事業名	林道整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	早期完成を目指し、早期発注に心がける。また、28年度以降の路線計画を各森林組合等と協議し、10年計画の路網計画図を作成する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	新規2路線の業務委託において、事業費削減のため必要最小限の工法検討を行う。また、継続路線の早期完成を実現させ、森林整備を計画的・効率的に行う。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

事務事業コード	03010202	事務事業名	林道整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費			
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役員費			
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料		3,300	11,300
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費	63,459	54,000	79,000
16	原材料費			
17	公有財産購入費	2,214	1,300	1,800
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金	1,559	1,300	1,500
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
	計	67,232	59,900	93,600
財源内訳	国庫支出金			23,500
	県支出金			6,000
	地方債	62,500	52,700	40,000
	その他			
	一般財源	4,732	7,200	24,100
	計	67,232	59,900	93,600
補助率	国			50 45
	県			15 0
補助基本額				

平成25年度補正・流用状況

当初予算	67,800
補正予算	
補正回数 1 回	
補正回数 2 回	
補正回数 3 回	
補正回数 4 回	
補正回数 5 回	
補正回数 6 回	
補正回数 7 回	
補正回数 8 回	
流用・充用	-33
予算合計	67,767

特定財源内訳

区分	名称	金額
地方債	過疎対策事業債	20,000
地方債	辺地対策事業債	22,100
地方債	林道整備事業債	20,400
合計		62,500

1. 基本情報									
事務事業コード	03010203	事務事業名	林道整備事業(県単)			担当部	農林水産部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	林務水産課		
施策名	01	農・林・水産業の振興				グループ	森林整備グループ		
基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111		
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)			
	款	06 農林水産業費							
	項	02 林業費							
	目	03 林道事業費							
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				根拠法令・条例等	なし			
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 森林には木材生産機能をはじめ、国土の保全、大気浄化、水源の涵養等の多面的機能があるが、その機能を発揮させるには森林整備を適正に行う必要がある。
 そして、森林整備を効率的に行うには、林道整備が必要となる。林道は林産物の搬出コスト低減、地域住民の生活環境改善や地域社会の進行に大きな役割を果たす。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 施工延長	m		75	105	135	135
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 林道の未改良(路線・流末)・未舗装路線							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 整備を推進する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な生産を行うための基盤が整う。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 山林所有者及び地域住民より県道より市道へ接続する林道整備要望が強い。作業道部分が狭隘かつ未舗装で荒れており改良舗装の要望が寄せられている。

4. 事業費の推移

事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		3,360	3,800	3,760	10,200
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		6,040	13,251	6,240	21,300
	事業費	千円	0	9,400	17,051	10,000	31,500

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
上井線 道路改良 L=105m W=4.0 10,579千円 補償1式	整備は途中であるが、急勾配急カーブ箇所の整備が終わり、利用者の安心安全な通行が可能となった。

事務事業コード	03010203	事務事業名	林道整備事業(県単)	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
D 公平性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	必要な箇所のみ改良実施と仕様や工法決定の段階で事業費の削減を図っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	設計図面の見直しを行い、事業費削減が可能か再検討する。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	上井線は27年度にて全線開通を目指し、森林整備促進を図る。他路線の実施計画検討を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報										
事務事業コード	03010201	事務事業名	林道等維持管理事業				担当部	農林水産部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興				グループ	森林整備グループ			
基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 23 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	林道管理条例		
	項	02 林業費								
	目	03 林道事業費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市が管理している林道・作業路の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。
 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 林道等の修繕箇所数	箇所	35	23	23	30	30
イ 林道敷払い委託延長	m	66,147	102,245	120,606	132,000	134,000
ウ 林道保守点検	路線	89	89	89	89	91

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線	89	89	89	89	91
イ 霧島市が管理する林道等	市が管理する林道延長	m	177,684	178,199	178,199	179,279	181,227
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 適切に管理される	林道利用に関する苦情	件	25	32	37	25	25
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		5,460	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		18,637	19,925	20,131	21,531
		事業費	千円	0	24,097	19,925	20,131	21,531

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

林道等の修繕箇所数 23箇所 林道敷払い委託 120,606m 保守点検を行った路線数 89路線	林道の適切な管理ができ、利用者の安全が守られた。
--	--------------------------

事務事業コード	03010201	事務事業名	林道等維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検を行うことで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	林道の維持管理は市の役割であるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	林道の機能及び安全の維持が目的であるため、必要不可欠である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 類似事業なし
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	林道を交付税対象となる市道に認定するなど、建設施設管理課と連携し、事業費の削減を図っておりこれ以上の削減はできない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	簡易な維持管理については職員で対応しているが、これ以上の経費削減は適正な林道の維持管理上、困難である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は森林所有者、作業従事者及び林道等利用者であり、林道管理は市となっているため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	25年度末に整備完成により林道延長が増加しているが、苦情等の増加が無いようパトロールの強化を図る。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	市が管理する林道・作業道・作業路等を適正にパトロールし、修繕箇所は早期に依頼し、計画的な除草作業を行い、利用者の安心安全を守るとともに、森林整備の推進、木材搬出経費削減を図る。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	02010203	事務事業名	森林環境税事業				担当部	農林水産部			
						担当課	林務水産課				
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				グループ	森林整備グループ				
施策名	01	自然環境の保全				電話番号	45-5111				
基本事業名	02	森林の保全				内線番号	2361				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	02 林業費									
	目	05 森林整備事業費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市で委嘱した森林づくり推進員活動を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督促、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多目的な機能の維持、増進を図る。また、林業事業者へ間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を助成することにより、森林所有者の施策意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 森林づくり推進員活動	日	265	265	265	265	265
イ 森林健全化整備(森林の除間伐・再造林)	ha	69	42	65	45	45
ウ 森林づくり基盤整備(作業道・作業路・集材路の路網整備)	m	12,302	12,450	9,540	28,000	28,000

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 森林施策計画の対象となる森林	森林施策計画面積	ha	13,106	14,605	9,832	14,605	11,000
イ 民有林	林業作業従事者数	人	119	101	111	111	111
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 計画的な森林整備が促進される	施策実施面積/森林施策計画面積	%	7	5	4	5	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつつか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林が保全される	植林された森林面積	ha	42	23	30	24	24
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乘せ補助を開始した。木材価格の低下による森林施策意欲が低下している。森林所有者から、森林を適正に保全するためさらに支援の拡充の要望がある。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		795	795	795
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		5,361	3,648	6,187
		事業費	千円	0	6,156	4,443	6,982

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

① 森林づくり推進員活動	265日	1,590,000円
② 森林づくり間伐事業	39.76ha	235,870円
③ 森林づくり基盤整備	9,540m	1,495,800円
④ 再造林等	25.47ha	1,121,185円

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

森林づくり推進員の活動等により、除間伐の促進が図られた。また本事業により集材路の開設を行い、搬出コストの低減が図られた。また再造林への助成により再造林の促進が図られた。

事務事業 コード	02010203	事務 事業名	森林環境税事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金	1,590	1,590	1,590
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	2,853	5,392	5,392
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		4,443	6,982	6,982
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	795	795	795
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	3,648	6,187	6,187
計		4,443	6,982	6,982
補助率	国			
	県	50		50
補助基本額				

平成25年度補正・流用状況

当初予算	6,420
補正予算	0
補正回数 1回	
補正回数 2回	
補正回数 3回	
補正回数 4回	
補正回数 5回	
補正回数 6回	
補正回数 7回	
補正回数 8回	
流用・充用	
予算合計	6,420

特定財源内訳

区分	名称	金額
県支出金	森林環境税関係事業費	795
合計		795

1. 基本情報		事務事業コード 02010204		事務事業名	森林整備事業	担当部	農林水産部
政策名		02	自然にやさしいまちづくり			担当課	林務水産課
施策名		01	自然環境の保全			グループ	森林整備グループ
基本事業名		02	森林の保全			電話番号	45-5111
予算科目		会計	一般会計			内線番号	2362
款		06	農林水産業費			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 11 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
項		02	林業費			根拠法令・条例等	森林・林業基本法、霧島市補助金等の種類及び補助率に関する
目		05	森林整備事業費			関連計画	
事務の区分		自治事務(法令で義務付けられていない事務)				評価区分	標準評価
事務種別		補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

森林所有者の施業意欲の向上と健全な森林を育み、自然環境を保全することを目的として、除間伐に事業費の10%、作業路等の開設に事業費の32%の補助を行い、森林の適切な維持を図る事業である。
 【事業実施主体】始良東部森林組合、始良西部森林組合、北始良森林組合
 【事業内容】作業路等開設整備・民有林施業(除間伐)

H25年度実績
 作業路等開設整備 5,600m
 森林施業(除間伐) 450ha

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 作業路等開設延長	m	560	600	5,600	5,000	5,000
イ 施業実施面積	ha	374	490	476	476	476
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 民有林	森林施業計画面積	ha	13,106	14,605	9,832	11,000	11,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林が整備される	施業実施面積 / 森林施業計画面積	%	7	5	4	5	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林が保全される。	植林された森林面積	ha	42	23	30	30	30
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

木材価格が低迷し、山林が荒廃しはじめたことから森林組合からの要請があり、平成11年度から助成を開始した。木材価格が低迷している。森林所有者からは、環境保護のため、森林整備へ更に支援の拡充を求める声がある。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		6,485	7,365	9,581
		事業費	千円	0	6,485	7,365	9,581

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

①除間伐 436ha ②森林作業道 5,200m	民有林の適切な維持管理が図られた。
-----------------------------	-------------------

1. 基本情報									
事務事業コード	01040201	事務事業名	治山事業			担当部	農林水産部		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				担当課	林務水産課			
施策名	04 防災対策の推進				グループ	森林整備グループ			
基本事業名	02 災害危険箇所の整備				電話番号	45-5111			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 37 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	06 農林水産業費							
	項	02 林業費							
	目	04 治山事業費			根拠法令・条例等	森林法・地方自治法			
事務の区分	法定受託事務				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>									
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)									
治山事業の実施(構造物・掘削・植栽等)により山林等の保護を図り、公共施設及び人家等を守る。 ①県単補助治山事業(事業主体・市)1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。 人家等2戸以上の保護・その他(県補助70%、住民分担10%) ②県営県単治山事業(事業主体・県)1箇所の事業費が80万円以上800万円以下であって、次に該当するもの。 公共施設の保護・重要なため池又は用排水施設の保護・農地2ha・その他(市10%負担、住民分担なし)									

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 施工箇所数	箇所	5	5	7	6	6
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的									
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)		
ア 公共施設(道路・水路・河川・建物) 農地・ため池・人家・山林									
イ									
ウ									
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)		
ア 森林崩壊地の早期復旧により、公益的機能の回復を図る。									
イ									
ウ									

(3) 上位の基本事業									
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)		
ア 安全性が確保される。									
イ									
ウ									

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

県が国の補助に適用しない荒廃地の復旧及び荒廃の恐れのある山地の予防工事を行うため、昭和37年7月1日に要綱を制定し、事業が開始された。市民の治山事業への理解や関心が高まり、市民からの要望が増加傾向にある。森林所有者や市民から治山事業の推進要望がある。80万以下の復旧工事を検討してほしい。

4. 事業費の推移									
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0	
		県支出金	千円		16,016	5,250	5,600	5,600	
		地方債	千円		0	0	0	0	
		その他	千円		2,288	750	800	800	
		一般財源	千円		10,147	10,324	5,600	5,600	
	事業費	千円		0	28,451	16,324	12,000	12,000	

5. 平成25年度の実績及び成果									
(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>				
県単補助治山事業2箇所 県営県単治山事業5箇所					事業実施により人家や公共施設等の安全性が向上された。				

1. 基本情報											
事務事業コード	02010401	事務事業名	なぎさの少年団育成事業				担当部	農林水産部			
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				担当課	林務水産課				
施策名	01	自然環境の保全				グループ	林務水産グループ				
基本事業名	04	環境学習の推進				電話番号	45-5111				
						内線番号	2371				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	03 水産業費									
	目	02 水産業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山小学校の全校児童を対象にした自然風土を活用した特色ある教育活動で、マダイ・ヒラメの放流体験、海岸清掃等なぎさを中心とした環境教育を基本とした事業の一部を補助する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 体験放流・海岸清掃・魚料理教室	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア なぎさの少年団員	福山小学校児童数	人	30	25	24	25	25
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 団員に自然や漁業に関心を持たせる	放流活動、清掃活動に参加した児童	人	30	25	24	25	25
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める。	過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%	12	13	13	21	25
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

なぎさを中心とした環境教育を基本にした諸活動を実施するために福山小学校で平成6年より開始した。5年前に比べると児童数が減少している。自然風土を生かした教育が得られることは子供達にとっても意義のあることなので、小学校関係者より事業を続けてほしいとの要望あり。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		30	30	30
		事業費	千円	0	30	30	30

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

25年度の実施活動 ○黒酢ブリの養殖体験 5月17日 ○ヒラメの放流3,300匹 5月22日 ○海岸清掃(海岸、国道周辺ほか) 7月17日 ○なぎさのコンサート 3月22日	海岸清掃をすることやヒラメの放流体験やなぎさのコンサート等を行うことで、錦江湾の生物を知ることや錦江湾の環境保全に対する理解が深まった。
--	--

事務事業コード	02010401	事務事業名	なぎさの少年団育成事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	この事業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾の環境に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びついている。
	② この事業をなげ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	事業目的以上の成果向上は見込めない。 参加児童数は、殆ど100%に達していることまた児童数も減る傾向のため参加児童数の増は見込めない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在自然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止となるとなお一層その体験活動の機会を失うことになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	児童数が減少するなかでこれ以上の市の負担削減は難しい。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主活動がほとんどであり、事務局を職員が担っている訳ではなく予算執行事務が主なものであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益地区は福山小学校のみに限定されているが、門戸は広げているので公平・公正である。(呼びかけをしていく必要あり)

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	養殖漁業や栽培漁業を学ぶだけでなく多様な体験活動をすることで更になぎさを中心とした特色ある活動を継続する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	錦江湾沿いにある小学校の全校生徒を対象にした特色ある教育活動であり、マダイの放流体験や海岸清掃等体感することで、錦江湾の生物を知ることや錦江湾の環境保全に対する理解が深まるため継続的に取り組みたい。 <input checked="" type="checkbox"/> 黒酢ブリの養殖体験 5月中旬 <input checked="" type="checkbox"/> ヒラメの放流3,300匹 5月下旬 <input checked="" type="checkbox"/> 海岸清掃(海岸、国道周辺ほか) 7月中旬 <input checked="" type="checkbox"/> なぎさのコンサート 3月下旬								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報										
事務事業コード	02010102	事務事業名	藻場・干潟等保全活動支援事業				担当部	農林水産部		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				担当課	林務水産課			
施策名	01	自然環境の保全				グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	公共用水域の水質保全				電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	03 水産業費								
	目	02 水産業振興費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 中		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

藻場・干潟は水産資源の保護・培養に重要な役割と水質浄化等の公益的機能があり、漁業者等がその機能の維持・回復に資する保全活動を国と地方自治体がそれぞれの役割に応じて支援する対策。
 【実施主体】錦江・福山町漁協・漁業者
 【交付率】25%
 【事業内容】藻場の保全活動のためにアマモの移植、干潟の保全活動に稚貝の放流等 藻場・干潟の保全・回復と水質浄化を図る。
 交付金事業で国・県・市が地域協議会へ負担金を支出し、協議会から事業主体へ交付を行う事業である。
 この事業は、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業に名称変更されて引き継がれる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア アマモの移植	回	2	2	2	2	2
イ 稚貝の放流	回	2	2	2	0	2
ウ 清掃活動	回	0	0	4	0	0

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 藻場・干潟	アマモの移植及び播種面積	m ²	200	200	200	400	400
イ	稚貝の放流面積	m ²	18,000	18,000	18,000	0	0
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 回復を図る	自然環境に寄与する人工藻場の面積/人工造成計画面積	%	3	4	4	4	4
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ・資源の増加・水質の保全がなされる	錦江湾の環境基準点第2地点のCOD	mg/l	2	2	2	2	2
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成21年調査の水質悪化を改善するために取り組んだ。藻場が確実に減少している。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		100	125	125
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		1,295	1,125	1,126
事業費		千円	0	1,395	1,250	1,251	

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

きりしま藻場守り隊 ①海藻の種苗投入 59人参加 ②アマモの移植及び播種(2*4m17枚設置) 45人参加 ③モニタリング(事業実施後の調査) 37人参加 あもりがわり隊 ①河川清掃活動(天降川の日当山橋付近) 150人参加 ②モニタリング(清掃後の実態調査) 10人参加	地域で活動を続けることで、きりしま地域(隼人町小浜や福山敷根地区)や天降川地域の河川の浄化意識の高揚と藻場の保全が図られた。
--	--

事務事業コード	02010102	事務事業名	藻場・干潟等保全活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	アマモの移植・稚貝の放流等することは、藻場・干潟の保全回復につながり、資源の増加や水域の水質の保全になされることに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復は湾奥の浄化につながることから妥当である
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	事業の成果にも限界があるので、事業目的以上の成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	4年間の継続事業であり廃止できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費が確定しているので削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は予算執行事務のみであり、削減余地がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	藻場・干潟の保全・回復を図るための事業であり、受益者は漁業者のみではなく一般市民となる。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	2組織が1組織に減るが、継続して事業成果が得られるようにモニタリング等で更に調査研究する								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	海藻の種苗投入やアマモの移植を継続することと事業成果が得られるようにモニタリング等で更に調査研究する きりしま藻場守り隊 ①海藻の種苗投入 40m11本を4箇所を設置 ②アマモの移植及び播種 96㎡を3箇所 ③稚貝(アサリ)の沈着 7箇所 ④モニタリング 5箇所								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報							
事務事業コード	02010402	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部		
政策名	02	自然にやさしいまちづくり		担当課	林務水産課		
施策名	01	自然環境の保全		グループ	林務水産グループ		
基本事業名	04	環境学習の推進		電話番号	45-5111		
				内線番号	2371		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 1 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	06 農林水産業費			根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱、霧島市補助金等の種類	
	項	03 水産業費					
	目	02 水産業振興費		関連計画			
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)			評価区分	標準評価	評価対象	
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性強		2次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

イベントを開催し、市の貴重な天然資源のひとつであり豊かな自然の象徴である鮎を広く市内外にPRするとともに、河川の環境保全・資源保護啓発の推進を図る事業である。

隼人地区の日当山温泉公園で年に1回、6月1日の鮎解禁日後の日曜日に開催。関係団体(地域、漁協や商工会、旅館、観光協会など)によって組織される鮎まつり実行委員会が主催する。

鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売・魚のつかみ取り等各コーナーを設置し実施する。

19年度から鮎の売上代金(鮎の塩焼き・鮎飯の販売・活き鮎販売)を徴収している。(平成18年度までは無料)なお、平成25年度については、雨天と突風のおそれがありイベントは、中止した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア イベント開催数	回	1	1	0	1	1
イ 鮎まつりの参加者数	人	3,000	3,000	0	5,000	3,000
ウ 設置されるコーナーの数	箇所	4	4	0	6	2

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民及び市外からの来客者	来場者数	人	3,000	10,000	0	5,000	3,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを知ってもらおう。	鮎のつかみ取りの参加者	人	130	150	0	170	200
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことのある市民の割合	%	11.9	13.0	13.3	21.0	25.0
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成元年、日当山天降川漁業協同組合よりまつを通して天降川の鮎を県内外にPRしたいとの要望により始まる。

来客数も年々増加し、鮎のPRや河川の環境保全・資源保護啓発が図られてきたが、この事業が行政主体になっている。実行委員会のあり方を再考する時期にきている。

※24年度は、花火大会と合同で開催(8月に)。暑い時期だったため鮎のインパクトは弱く、不評。

4. 事業費の推移

事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		1,000	370	870	870
事業費		千円	0	1,000	370	870	870

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
雨天と突風のおそれがありイベントは、中止。	雨天と突風のおそれがありイベントは、中止。

事務事業コード	02010402	事務事業名	鮎まつり開催事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	天降川が鮎の生息する自然豊かな川であることを、市民及び市外からの来客者に知ってもらうことで環境に関する関心と理解を深めることになり、結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	環境問題について関心が多い昨今、市民一人ひとりが環境問題や自分達の川を守っていかなければならないという意識を多くの市民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はある程度ある ■ 向上する余地はほとんどない	つかみ取りは、小学生(1年生～6年生)であり、川で体験する機会もないため参加者には人気があるが、来場者の目的が決まっているので、成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	廃止した場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であることを県内外の人々に知ってもらう機会が減る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	開催方法を工夫することでイベントの事業費の削減の余地はある。そのために26年度に調査研修(内之浦へ研修)を行う。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ □ 削減できない ■ 削減できる	開催方法を工夫することでイベントの規模を縮小できれば、それに関する人件費は削減できる。今後3年程度の期間をかけて事務局移管も含めて改善する。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	霧島市民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対象であり、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	今後、開催方法を改善するために26年度は、他の市町の水産業振興のまつり(目的)を調査研究して具体的な改善策を決める。そして改善策に実際着手する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	26年度ではほぼ理解の得られた新しい開催方法でいつから実践できるのか実行委員会で決定する。事務局移管についても具体的に相談・検討して3年計画等で進める。他の市町で研修した「えっがね祭り」のように1～3カ月程度、ホテルやレストラン等で鮎料理の提供をしていただき、事務局はそのオープニングイベントだけ開催する方法を実行委員会で検討する。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 総評	事務局移管を含めて開催方法やイベントの内容について今後検討を行う。								

1. 基本情報											
事務事業コード	03010102	事務事業名	海面環境保全事業				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
							内線番号	2371			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 59 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	03 水産業費									
	目	02 水産業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 桜島の火山活動に伴い堆積した軽石が梅雨、台風等の大雨の際に大量に海面に流失し、又河川からの流木等が海面に浮遊し福山港に漂着し漁船の航行を阻害するので、毎年海の日の前後に、重機等を使って除去する処理事業に係る費用の一部を助成する。事業主体:福山町漁協

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海面環境保全事業	回	2	1	1	1	1
イ 漁船数	隻	60	60	60	60	60
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海面漁業者	清掃作業の参加者	人	20	20	20	20	20
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 漁船被害の軽減	放流した稚魚の数	万匹	41	48	50	60	60
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41	48	50	60	60
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった(漁業関係者、周辺住民)。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		136	136	136	136
	事業費	千円		0	136	136	136

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

福山漁協 軽石、ゴミ等の除去 7月15日～7月16日	この事業をすることで漁場環境を保全し、刺し網、定置網、一本釣り等の漁業経営の安定化につながった。
----------------------------	--

事務事業 コード	03010102	事務 事業名	海面環境保全事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	安全な船舶の航海の確保を推進し、漁業者の安定経営を支援することで政策体系に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	漁業の振興及び環境保全への取り組みを支援することは、行政が関与することは妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市の予算も増額できないことと放流する稚魚や水質状況にもよるため事業目的以上の成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	安全な航海が確保できなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	予算執行等の事務のみであることから削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全な船舶の航海の確保を推進し、周辺漁業者全てが受益者であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	開催日 26年7月20日 参加人数 20人							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	開催日 26年7月下旬 参加人数 20人							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報										
事務事業コード	02010202	事務事業名	森林維持管理事業			担当部	農林水産部			
政策名	02	自然にやさしいまちづくり			担当課	林務水産課				
施策名	01	自然環境の保全			グループ	森林整備グループ				
基本事業名	02	森林の保全			電話番号	45-5111				
					内線番号	2362				
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 — 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費				根拠法令・条例等	なし			
	項	02 林業費								
	目	05 森林整備事業費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市有林を適正に管理するための整備や市有林監視人の設置、また森林国営保険への加入などを行う。除間伐及び下刈については森林組合等の林業認定事業体に委託して行っている。森林国営保険については市有林の面積で保険に継続加入、また新規購入の箇所については新たに加入しているが、予算額を見ながら補償率を下げて、通常の掛金よりも安価な掛金で保険に加入している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市有林の施業実施面積	ha	41	43	45	46	46
イ 森林国営保険加入面積	ha	65	196	211	348	236
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市有林	市有林面積	ha	2,516	2,531	2,531	2,531	2,531
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 適正に管理する。	施業実施面積	ha	41	43	45	46	46
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林が保全される	植林された森林面積	ha	42	23	30	30	30
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	14,322	14,322
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	499	0	0
		一般財源	千円		374,978	27,241	35,150	35,150
		事業費	千円	0	374,978	27,740	49,472	49,472

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

①下刈 19.82ha 霧島市牧園町高千穂字柳ヶ平3242-5 ほか ②除間伐 45.05ha(補助42.62ha、単独2.43ha) 霧島市国分川内字鍋迫1081-1 ほか +B63森林国営保険加入 347.93ha 4,007,268円 ④市有林監視人による巡視活動 16人 ⑤選木調査他(クスキ) 8.71ha	適正な市有林の維持管理が図られた。
--	-------------------

事務事業コード	02010202	事務事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市の所有する山林を適切に維持管理することによって、森林が保全されるので政策体系に結びついている。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林のため、市が管理を行わなければならない。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市有林の施業(下刈、除間伐等)を適切に実施することで、成果目標の向上が期待できる。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市有林のため、市が管理を行わなければならない。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助事業により、施業できる場所は積極的に補助事業を導入しているので事業費を削減することは困難である。	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、市有林の施業は森林組合等の認定林業事業体に委託(入札形式)しているため、人件費の削減も困難である。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市有林の委託発注については、基本的に入札形式を採用しているため、一部の受益者に偏ることはない。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<							>
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
	○								
(2) 平成26年度の改革改善の内容	市有林の施業については、できるだけ高率の補助事業を活用するように取り組むとともに、担当者研修会等を通じて担当者間の技術、知識の共有を図りながら、適切な森林施業に取り組んでいく。維持管理については、今後も現状を維持しながら引き続き適正な事業を行う。								
(3) 平成27年度の方 向性・取組目標	市有林の適正な維持管理、適切な森林施業(除間伐等)を行う。 ①下刈 25.95ha ②除間伐 36.32ha(補助) ③森林国営保険加入 239.43ha 4,902,000円 ④市有林監視人による巡視活動 12人 ⑤選木調査他(クヌギ) 7.82ha								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

事務事業 コード	02010202	事務 事業名	森林維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費	1,068	1,192	1,192
9	旅費	0		
10	交際費			
11	需用費	22	23	23
	消耗品費	22	23	23
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役員費	8,527	11,938	11,938
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料	4,446	4,691	4,691
	保険料	4,081	7,247	7,247
13	委託料	12,313	31,959	31,959
14	使用料及び賃借料	4,760	4,300	4,300
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費	0		
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	1,050	60	60
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金	0		
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		27,740	49,472	49,472
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	14,322	14,322
	地方債	0	0	
	その他	499	0	
	一般財源	27,241	35,150	35,150
	計	27,740	49,472	49,472
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成25年度補正・流用状況

当初予算	27,075
補正予算	524
補正回数 1回	524
補正回数 2回	
補正回数 3回	
補正回数 4回	
補正回数 5回	
補正回数 6回	
補正回数 7回	
補正回数 8回	
流用・充用	1,120
予算合計	28,719

特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	雑入	499
		0
合計		499

1. 基本情報											
事務事業コード	02010201	事務事業名	企業との協働の森づくり事業				担当部	農林水産部			
						担当課	林務水産課				
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				グループ	森林整備グループ				
施策名	01	自然環境の保全				電話番号	45-5111				
基本事業名	02	森林の保全				内線番号	2361				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	なし			
	項	02 林業費									
	目	05 森林整備事業費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

企業と「森づくり事業」の協定を結び、寄付金により市有林の整備を行うものである。

平成19年度から、トヨタ車体(株)と(株)トヨタ車体研究所より寄付金100万円を寄付いただき森林整備を実施。1期(19年度より23年度)では牧園地区の5箇所約14haで間伐・植林を実施。2期(24年度より28年度)を実施中である。森林整備を行った森林は、「トヨタ車体グループの森」と呼び、環境啓発イベント等を開催し、森林の持つ公益的機能や二酸化炭素吸収源としての森林の重要性を市民の皆さんと考える場として活用している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 「企業と協働の森」の除間伐実施面積	ha	2.27	2.46	2.43	2.40	2.40
イ 企業からの寄付金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市有林	市有林面積	ha	2,516	2,531	2,531	2,531	2,531
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 適正に管理する。	施業実施面積	ha	2.27	2.46	2.43	2.40	2.40
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林が保全される。	施業実施面積	ha	374	490	476	476	476
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

森林は森林資源の造成という機能だけでなく、災害防止や、二酸化炭素の吸収源としても期待されている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	990	1,000
		一般財源	千円		0	0	0
		事業費	千円	0	0	990	1,000
投入量							

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

牧園町高千穂にある市有林3箇所の2.43haにおいて、除間伐を実施した。
 ・牧園町高千穂字柳ヶ平3242-4 ほか
 委託先：北始良森林組合

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

除間伐実施により健全な市有林に整備できたことは勿論、山林に「トヨタ車体グループの森」の看板を設置し広く市民へアピールが出来た。

事務事業 コード	02010201	事務 事業名	企業との協働の森づくり事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	990	1,000	1,000
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		990	1,000	1,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	990	1,000	1,000
	一般財源		0	
計		990	1,000	1,000
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成25年度補正・流用状況

	当初予算	1,000
補正予算	0	
補正回数 1 回		
補正回数 2 回		
補正回数 3 回		
補正回数 4 回		
補正回数 5 回		
補正回数 6 回		
補正回数 7 回		
補正回数 8 回		
流用・充用		
予算合計	1,000	

特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	指定寄付金	990
合計		990

1. 基本情報											
事務事業コード	03010101	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
							内線番号	2371			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	03 水産業費									
	目	02 水産業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

福山町漁協がアオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入、また錦江漁協が浜之市沖に人口イカ産卵床を設置し、アオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。
補助金交付先: 福山町漁協

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 投入回数(年度内)	回	2	2	2	2	2
ウ イカ柴投入数	回	90	90	90	60	60

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 漁業資源が確保される	湾奥における漁獲高	円	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41	48	50	60	60
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

福山港沖はイカ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により平成17年から開始した。浜之市沖も錦江漁協青壮年部の自主事業でしていたが23年度より設置事業を開始した。水質の低下、水産資源の枯渇や燃油等の高騰により漁業を取り巻く状況は厳しくなっている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		270	270	270
		事業費	千円	0	270	270	270

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

① 錦江漁協 人口イカ産卵床設置 30基 小浜海岸沖 ② 福山漁協 イカ柴投入 60個 福山沖	①②アオリイカやコウイカの産卵用魚礁が形成され、イカの産卵育成と漁業の安定的な生産に貢献した。
--	---

事務事業コード	03010101	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備補助事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	イカ柴の投入を行うことによって漁業者の経営安定が図られるため、政策体系に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	漁獲高については、水質改善や天候等いろいろな条件が複雑に影響しているため、いまのところ事業目的以上の成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の殆んどは必要経費であり、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費としては、予算執行事務と投入立会いのみであるので、これ以上の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益者は全ての漁業者であるため適正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	投入した採卵床を調査研究することで、投入場所や投入時期を工夫して事業の投資効果を上げること。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	投入した採卵床を調査研究することで、投入場所や投入時期を工夫して事業の投資効果を上げること。 H27年度の数値的目標 ① 錦江漁協 人口イカ産卵床設置 30基 小浜海岸沖 ② 福山漁協 イカ柴投入 60個 福山沖								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	03010104	事務事業名	漁業資源放流支援事業(パイロット事業)				担当部	農林水産部			
政策名	03	活ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
							内線番号	2371			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱			
	項	03 水産業費									
	目	02 水産業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 中		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海面漁業者によるヒラメ3, 300匹とマダイ27, 623匹を単人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mにそれぞれ4月から7月にかけて放流を行う事業の経費について、一部補助を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 放流回数	回	4	4	4	4	4
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	269	269	269	269	269
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41	48	50	60	60
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持や増大を図るため、平成8年度より開始された。湾奥に位置する漁場のため水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少等、漁業者を取り巻く環境は厳しい。漁業を取り巻く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい(地元漁協)。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		194	194	194
		事業費	千円	0	194	194	194

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

ヒラメ3, 300匹とマダイ27, 623匹を単人町及び国分地先と福山町漁協地先沖合い50mに放流した。

放流することで、漁業者の経営安定が図られた。

1. 基本情報											
事務事業コード	03010101	事務事業名	森林整備地域活動支援事業				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	林務水産課				
施策名	01	農・林・水産業の振興				グループ	森林整備グループ				
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援				電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 14 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	青島市森林整備地域活動支援交付金交付要綱、鹿児島県森林整備地域活動支援交付金交付要綱			
	項	02 林業費									
	目	05 森林整備事業費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

木材価格の長期にわたる低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施策が的確に実施されにくい状況となっている。
 そのため、森林経営計画に基づく協定を締結した山林、または今後、森林経営計画に組み込む山林などで、下記の3つの地域活動を行った場合に、それぞれhaあたり定額の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施策の推進を図る。

- ①森林経営計画作成促進 8,000円/ha
- ②施業集約化の促進 30,000円/ha
- ③作業路網の改良活動 10,000円/ha、6,000円/ha

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 支援交付金交付団体	団体	5	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 森林整備協定締結者(団体)	協定締結数	協定	48	25	11	11	11
イ 森林施策計画対象区域内の森林	支援事業対象森林面積	ha	9,674	12,325	5,402	5,402	5,402
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 間伐等森林整備が進む	森林施策計画面積	ha	13,106	14,605	9,832	11,000	11,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつつか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	476	476	476
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 平成14年度より森林施策の推進を図るため、国がこの事業を開始した。14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により単価を分けて交付するようになった。さらに平成23年度から森林経営計画制度が導入されたため、現在は森林経営計画へ移行している。これに伴い、本事業においても国により対象活動の大幅な見直しが行われている。特に要望・意見等は寄せられていない。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		36,112	15,800	24,094
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		12,038	5,130	7,825
事業費		千円	0	48,150	20,930	31,919	31,919

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

①森林経営計画の作成促進 1ha 8,000円 ②施行集約化の促進 378.4ha 12,362,800円 ③作業路網の改良 12,450m 9,160,000円	事業により森林整備への関心が高まり、間伐や造林の促進が図られた。
---	----------------------------------

事務事業コード	03010101	事務事業名	森林整備地域活動支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		国の事業であり、公共関与は妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			本事業を実施することにより、森林整備の重要性を所有者に理解してもらい、森林経営計画(森林施業計画)への参加を促進し、また、施業の集約化を進め、施業の団地化を行うことにより、成果の向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等			
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	国の制度により負担割合が決められており、事業費を削減するのは困難である。		
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		交付金の支払いに伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある			この事業は森林組合等を通じて山林所有者への補助(施業前の森林現況調査や作業路網の改良等)を行う事業であり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善の方向性		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	国の制度改革に伴い、実施基準が変更されている。新たな実施基準に基づき適正な事業執行に努める。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林経営計画作成促進、施業集約化の促進、作業路網の改良を行う。 ① 森林経営計画の作成促進 15ha 120,000円 ② 施行集約化の促進 380ha 11,400,000円 ③ 作業路網の改良 1,110ha 9,060,000円								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	03010103	事務事業名	漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱			
	項	03 水産業費									
	目	02 水産業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 中		評価区分	標準評価		評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

種苗(カサゴ10,000匹は、隼人町浜之市沖、稚鮎150Kgは、天降川水系の中津川・金山川・万膳川)の放流を毎年4月に行うことにより、資源の維持増殖に努めるとともに漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 放流回数	回	2	2	2	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	158	158	158	158	158
イ 内水面漁業者	内水面漁業者数		27	27	27	27	27
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 漁業者の経営安定	霧島市漁獲高	t	465	465	465	465	465
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 効率的な生産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数	万尾	41	48	50	60	60
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため平成18年から実施。漁業者の高齢化や漁業資源の減少など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。水産資源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続けてほしい(錦江漁業協同組合)。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		658	658	658
		事業費	千円	0	658	658	658
投入量							

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

錦江漁協 カサゴの種苗(10,000尾)放流 市の補助 273,000円 天降川漁協 稚鮎150kgの放流 市の補助 385,000円	放流することで、漁業者の経営安定が図られている。また、天降川の資源の維持、培養に努め河川浄化の意識高揚につながった。
--	--

1. 基本情報									
事務事業コード	01040701	事務事業名	補助林業施設災害復旧事業			担当部	農林水産部		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり			担当課	林務水産課				
施策名	04 防災対策の推進			グループ	森林整備グループ				
基本事業名	07 災害復旧対策の推進			電話番号	45-5111				
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	11 災害復旧費			根拠法令・条例等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律			
	項	01 農林水産施設災害復旧費							
	目	02 林業施設災害復旧費							
事務の区分	法定受託事務			関連計画					
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

●市が管理している林道が補助対象となる条件を下記に掲げる。次に掲げる異常な天然現象により受けた災害を補助対象とする。

1. 災害復旧事業の対象となる災害
 (1)こう水による災害 (2)降雨による災害(最大時間雨量20mm以上、最大24時間雨量80mm以上) (3)暴雨風による災害(最大風速15m以上) (4)地震及び地すべりによる災害(震度4以上)

2. 一箇所40万円以上の被害箇所

●林道災害復旧事業の流れ
 被害発生→被害報告(60日以内に復旧事業費確定)→災害査定(事業費決定)→施工→完成

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	災害復旧箇所数	箇所	0	1	0	2	2
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	林業用施設							
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	原形復旧される							
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	被災箇所が復旧される							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市が管理する林道が豪雨等により被災した場合、事業採択要件を満たせば補助林業施設災害復旧事業にて復旧する。災害査定にて林道の維持管理状況が重視されているため、日ごろより林道のパトロールを強化・管理する。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	9,850	9,850
	地方債	千円		0	0	7,800	7,800
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		0	0	2,350	2,350
事業費		千円	0	0	0	20,000	20,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組)	(2) 平成25年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載>	<左記の実績(取組)による成果を記載>
25年度は補助林業施設災害復旧事業は該当なし	災害復旧事業に該当する被災はない。

事務事業コード	01040701	事務事業名	補助林業施設災害復旧事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由			
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？				
	<input type="checkbox"/> 結びついている				
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない				
A 目的妥当性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？				
	<input type="checkbox"/> 妥当である				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある				
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない				
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？				
B 有効性	<input type="checkbox"/> 影響がある				
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない				
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)			類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない				
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない				
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる					
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	災害査定にて必要最小限の事業費が確定するため事業費の削減はできない。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	災害復旧は年度により発生件数が相違するが、件数が少なくなつて県・国との直接協議のため人件費削減はできない。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない				
	<input type="checkbox"/> 削減できる				
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？				
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある				

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	災害が発生した時は、迅速な対応で早期に機能回復を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	03010101	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業				担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり					担当課	林務水産課			
施策名	01	農・林・水産業の振興					グループ	林務水産グループ			
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援					電話番号	45-5111			
							内線番号	2371			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費					根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	02 林業費									
	目	02 林業振興費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

近年、生産者の減少や高齢化により、乾、生しいたけともに生産量は減少傾向にあり、霧島市のしいたけ産業の振興を図るため、しいたけ原木の安定供給と乾しいたけ系統共販体制を確立する。また、しいたけの安定供給による良質・安定な食品等に対する市民の期待に応えながら、会員相互の連絡調整と技術の向上を図るために助成をする。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア しいたけ生産振興会補助団体数(本部・支部)	団体	4	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア しいたけ生産振興会員	しいたけ振興会員数	人	25	25	23	23	23
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア しいたけ生産量が増大する	乾しいたけ生産量	Kg	20,306	29,125	27,293	30,000	30,000
イ しいたけ生産量が増大する	生しいたけ生産量	Kg	207,402	119,961	119,695	120,000	120,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	500	500	500
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、経営の安定を目的として開始した。生産者の高齢化、安価な外国産の輸入、生産様式等の変化に伴う需要の減少など、しいたけ生産を取り巻く環境は厳しい状況にある。そのなか、霧島市のしいたけ生産者は、県の『かごしま農林水産物認証制度』を受けるなどし、安心・安全な県産特用品産物の供給体制づくりに努めている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		60	60	60
		事業費	千円		0	60	60

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

霧島市しいたけ振興会補助金(60,000円)本部・本部事業として意見交換会等を実施(4月11日参加)・各支部事業として、ふるさと祭りの参加、お歳暮用しいたけ販売、品評会等各種事業を実施

霧島市しいたけ振興会の各種事業を通じて、生産技術の向上や生産量の増大、品質向上のための情報交換が図られた。

1. 基本情報										
事務事業コード	02010401	事務事業名	みどりの少年団育成事業				担当部	農林水産部		
						担当課	林務水産課			
政策名	02	自然にやさしいまちづくり				グループ	林務水産グループ			
施策名	01	自然環境の保全				電話番号	45-5111			
基本事業名	04	環境学習の推進				内線番号	2371			
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 44 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費				根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
	項	02 林業費								
	目	02 林業振興費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	補助金・負担金事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

次代を担う青少年が「緑を愛し」「緑を守り」「緑を育てる心を養う」ことを通じて、人間性豊かな健康的で明るい社会人として育っていくことを目的として活動している。市からの助成等により、みどりの少年団の育成と健全な発展を図っている。
 霧島市には市内4つの小学校にみどりの少年団が存在する。
 竹子緑の少年団(35名) 竹子小学校
 安良緑の少年団(55名) 安良小学校
 霧島山緑の少年団(12名) 三体小学校
 霧島小緑の少年団(15名) 霧島小学校
 少年団の主な活動としては、みどりの感謝祭や地区交流会などの森林体験学習のほか、地区植樹祭への参加や街頭募金活動を行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア みどりの感謝祭開催	回	1	1	1	1	1
イ 活動発表大会及び交流会集	回	1	1	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア みどりの少年団(4団体)	みどりの少年団員	人	146	140	117	110	110
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 活動を通じて森林の持つ役割を市民に伝え理解を得る	緑化活動へ参加した団員延べ参加数	人	1,886	1,753	1,626	1,500	1,500
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 環境に関する関心と理解を深める	過去3年間に環境学習に参加したことがある市民の割合	%	12	13	13	21	25
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

次代を担う青少年を大自然の中で緑を愛し、守り育てる心と健康で明るい心をもった人間を育てることを目的として開始され緑の少年団活動に取り組んでいる。	4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
			県支出金	千円		0	0	0	0
			地方債	千円		0	0	0	0
			その他	千円		0	0	0	0
			一般財源	千円		201	198	257	257
		事業費	千円		0	201	198	257	257

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

みどりの少年団補助金(23,000円×4少年団) みどりの少年団バス借上料(165,000円)感謝祭、交流会、研修等	少年団員数117名に対して、感謝祭・交流会・研修等の緑化活動に参加した延べ参加数は、約13.8倍の1,626人と活動に生かされている。
---	---

1. 基本情報										
事務事業コード	02010201	事務事業名	松くい虫防除事業			担当部	農林水産部			
					担当課	林務水産課				
政策名	02	自然にやさしいまちづくり			グループ	林務水産グループ				
施策名	01	自然環境の保全			電話番号	45-5111				
基本事業名	02	森林の保全			内線番号	2372				
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S52 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	06 農林水産業費				根拠法令・条例等	森林病害虫等防除法			
	項	02 林業費								
	目	02 林業振興費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内景勝地のレクリエーションの場に欠かすことのできない公益的機能の高い松林について、対象木593本に対し計画的に数年に分け冬期間に健康な松の樹幹に小孔をあけて予め薬剤を注入し、松くい虫被害を防止する。また、霧島地区(神話の里公園付近)においては松くい虫による被害木を伐倒・玉切りして枝条まで集積してビニールで被覆くん蒸することで、被害の拡大を防止する。
 ※委託業者: 森林組合(指名入札5社)
 ※薬剤残留検査: (目的: 薬剤の効果確認, 手法: 枝等を検査機関へ持ち込み, 金額: 無料)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 景勝松林樹幹注入本数	本	121	127	153	146	146
イ 伐倒・くん蒸	m³	201	199	304	300	300
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 景勝松林	景勝松対象松	本	592	592	529	592	592
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 病害虫から守る	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	20	21	26	25	27
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 景勝松林が保全され市民などの癒しの場にもつながる。	植林された森林面積	ha	42	22	30	30	30
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介するマツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始した。10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り返している。	4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
	投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
			県支出金	千円		4,598	6,593	6,986	6,986
			地方債	千円		0	0	0	0
			その他	千円		211	228	417	417
			一般財源	千円		554	549	1,591	1,591
		事業費	千円		0	5,363	7,370	8,994	8,994

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

景勝林樹幹注入事業 国分海浜公園(69本)、霧島神宮参道(69本)、国民休養地(15本) 伐倒・くん蒸事業 霧島神話の里公園周辺(304m³)	松くい虫被害を未然に防止できた。霧島神宮参道については寿命等で枯れ松が数本見受けられるので、路上等に倒れて事故が起こる前に伐倒し植替えを行うことができた。 また、伐倒・くん蒸を行っている神話の里公園付近については、枯損木を撤去し、樹種転換を図った。
--	---

1. 基本情報											
事務事業コード	01010201	事務事業名	飲雑用水施設管理事業			担当部	農林水産部				
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり			担当課	林務水産課						
施策名	01 生活基盤の充実			グループ	森林整備グループ						
基本事業名	02 安全で良質な水の安定供給			電話番号	45-5111						
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)					
	款	06 農林水産業費									
	項	02 林業費									
	目	01 林業総務費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)			関連計画	霧島市飲雑用水施設設置管理規定						
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強		評価区分	簡易評価		評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内には60箇所飲雑用水施設があり、地元水道組合等が適正な管理を行い、各家庭へ安定した水を供給している。国分地区の飲雑用水施設においては、市で施設の整備を行い、それぞれの地区の水道組合と管理委託契約を締結した施設が20箇所ある。施設が個人敷地に設置されているため分筆登記を行い、霧島市所有地にすることで今後も適正な管理ができる。朴木地区水道組合水源地への道が無いため組合員は管理に苦慮している。飲雑用水管理道を整備することで、安心・安定な水供給と安全な維持管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 分筆実施施設数	箇所	0	6	0	2	2
イ 管理道整備延長	m	0	0	0	83	200
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 飲雑用水施設、管理道							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 整備される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全で良質な水を安定して供給できる							
イ おいしい水が確保できる							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地域住民の生活向上のため、飲雑用水施設の整備は不可欠であり、安心安全な水を供給することが目的である。

施設が個人敷地に設置してある箇所を分筆し、霧島市所有にすることで、適正な管理が可能となる。管理道の整備を行うことで安心安全な水供給が可能となる。

今後は施設の老朽化が進んでいるため、耐久性の調査や再造も検討していかなければならない。

4. 事業費の推移

事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円	0	2,684	2,000	5,000	
事業費		千円	0	0	2,684	2,000	5,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
朴木地区飲雑用水施設管理道設計業務委託 2,488,500円 公有財産購入費(2筆) 196,200円	測量設計業務委託の完成により、26年度以降計画的に管理道の整備が可能となった。

事務事業コード	01010201	事務事業名	飲雑用水施設管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要な箇所での工法決定しており、事業費削減の余地は無い。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の職員と事務量であり、これ以上事務を効率化できない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	施設土地の分筆・登記作業の可能性を把握する。 26年度より朴木飲雑用水管理道整備の工事を開始するが、水道組合員の用地は寄付採納を考えている。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	施設土地所有者の分筆の可能性を把握し作業を行う。 朴木飲雑用水管理道の早期完成を目指す。 飲雑用水施設の老朽化対策を進める。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報										
事務事業コード	03010101	事務事業名	林業施設維持管理事業			担当部	農林水産部			
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課	林務水産課				
施策名	01	農・林・水産業の振興			グループ	林務水産グループ				
基本事業名	01	農林漁業経営体への支援			電話番号	45-5111				
					内線番号	2371				
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	06 農林水産業費				根拠法令・条例等	地方自治法第244条の2(指定管理)			
	項	02 林業費								
	目	01 林業総務費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 中	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民に森林を利用したレクリエーションの場を提供し市民の健康増進を図るため、維持管理を行う。
 指定管理施設・・・黒石岳森林公園、丸岡公園バンガロー施設
 直営施設・・・川原加工貯蔵施設、多目的研修集会所(川原、塚脇、清水)、松ヶ野地区林業集会所、溝辺竹子集会所センター、林構事業機械保管倉庫(鐘突)、福山食の交流館

直営施設は、適宜施設の修繕を行い施設の維持管理を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 林業施設維持管理費(委託料)	千円	8,175	8,326	6,200	6,608	6,315
イ " (修繕料)	千円	905	111	506	600	600
ウ " (保険料)	千円	153	162	155	141	141

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 森林を利用したレクリエーションの場を享受し、健康増進が図られる	利用者アンケートで満足・やや満足と答えた割合	%	-	-	10	20	20
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 体質が強化される	経営体が施業を実施した面積	ha	374	490	500	500	500
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

林業施設については市の所有であり、施設に関わる維持管理(光熱水費、修繕料及び保険料)を市で行う。施設の維持管理については特に変化はない。

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		8,655	7,326	8,766	7,723
		事業費	千円	0	8,655	7,326	8,766	7,723

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

林業施設の維持管理(光熱水費67千円、修繕料506千円、保険料155千円、委託料6,200千円)	一部の施設を指定管理委託することで、経費の抑制、サービスの向上が図られ、また、林業施設の維持管理を行うことで、林産物加工の促進につながった。
--	--

事務事業 コード	03010101	事務 事業名	林業施設維持管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	林務水産課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	林業施設の維持管理をすることは、林産物加工の促進、または経営の強化に繋がっているため意図に結びつくといえる。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	収益とサービス向上が見込める施設は、指定管理者での管理とし、他は市所有の施設として、維持管理を市が負っている。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者に満足度について、施設の老朽化などハード面では、向上が困難な点もあるが、接客や利便性など施設運営のソフトの面で改善を試みる余地がある程度ある。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設に手が入らなくなることで、老朽化が進み、管理が難しくなることが予想される。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	既に必要最小限の経費で管理を行っており、これ以上の経費削減は管理に支障がでることも考えられる。	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設維持管理のための予算執行事務が主であり、これ以上の削減の余地はない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設の維持管理は、市民が安全に利用できる環境を整えるためであり、不公平は生じない。また、施設利用者から使用料を徴収し、受益者負担についても公平・公正であるといえる。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	利用者数の増加に向けた取り組み及び施設の維持管理のため、指定管理者と連携する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	施設の老朽化が進んでおり、修繕等により市民が安全に利用できる環境を整える。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

